

御鉢火口付近の地形図。図中の点線丸が新しい噴気孔の位置。

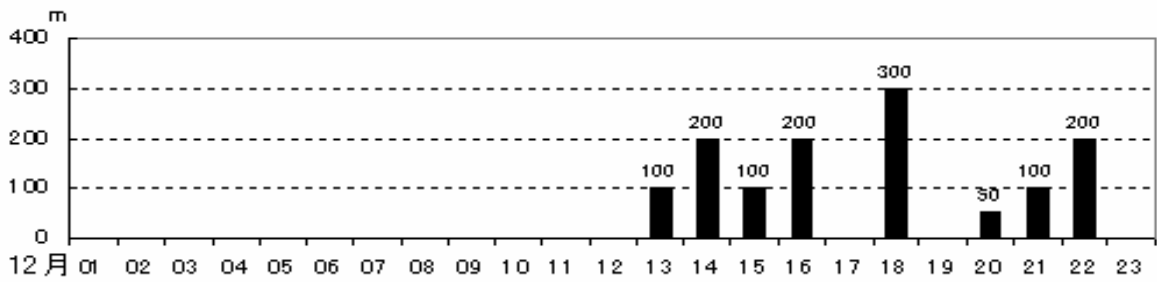


図1 御鉢火口の日最高噴気高度図(2003年11~12月)
 12月13日以降の火口縁からの最高噴気高度は12月18日の300m

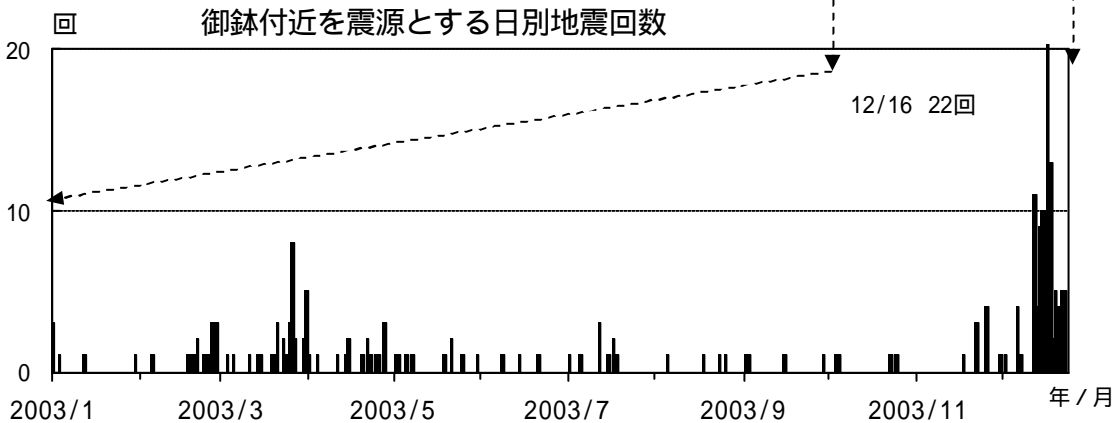
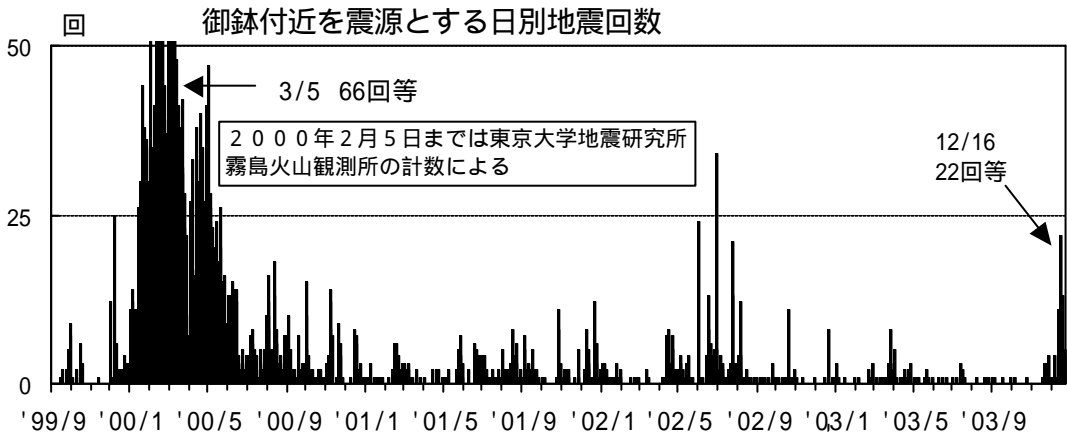
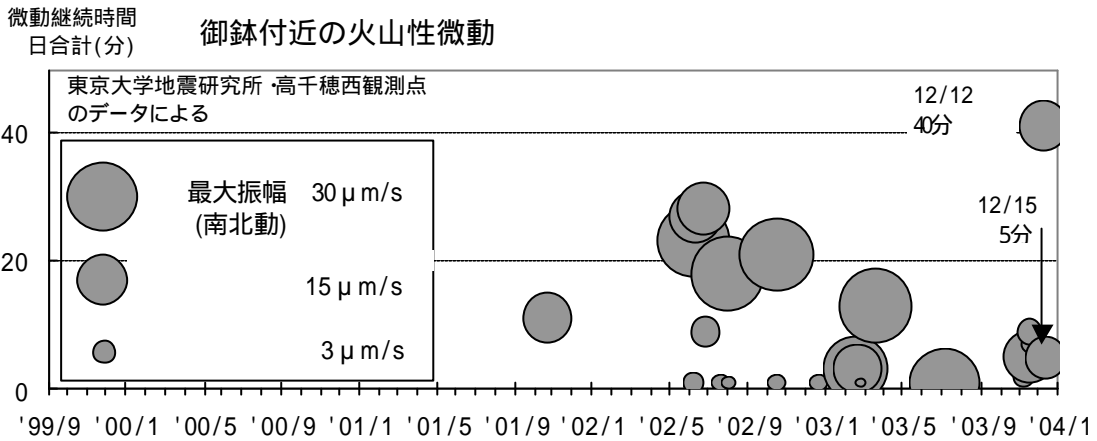


図2 火山活動経過図(1999年9月~2003年12月)
 2003年12月12日以降火山性地震の数が増加している

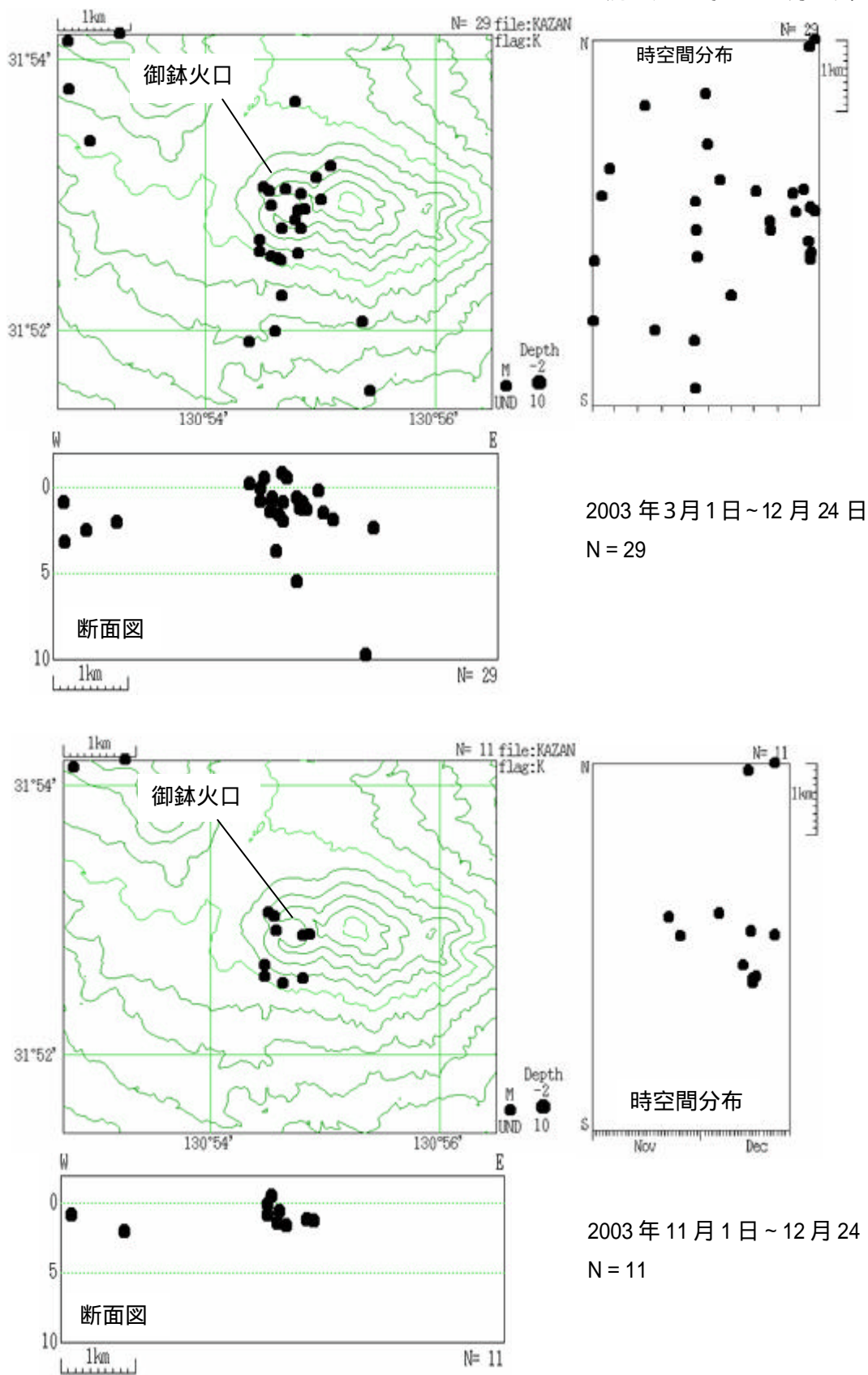


図3 火山性地震の震源分布。上図は2003年3~12月、下図は2003年11月1~24日の分布図。

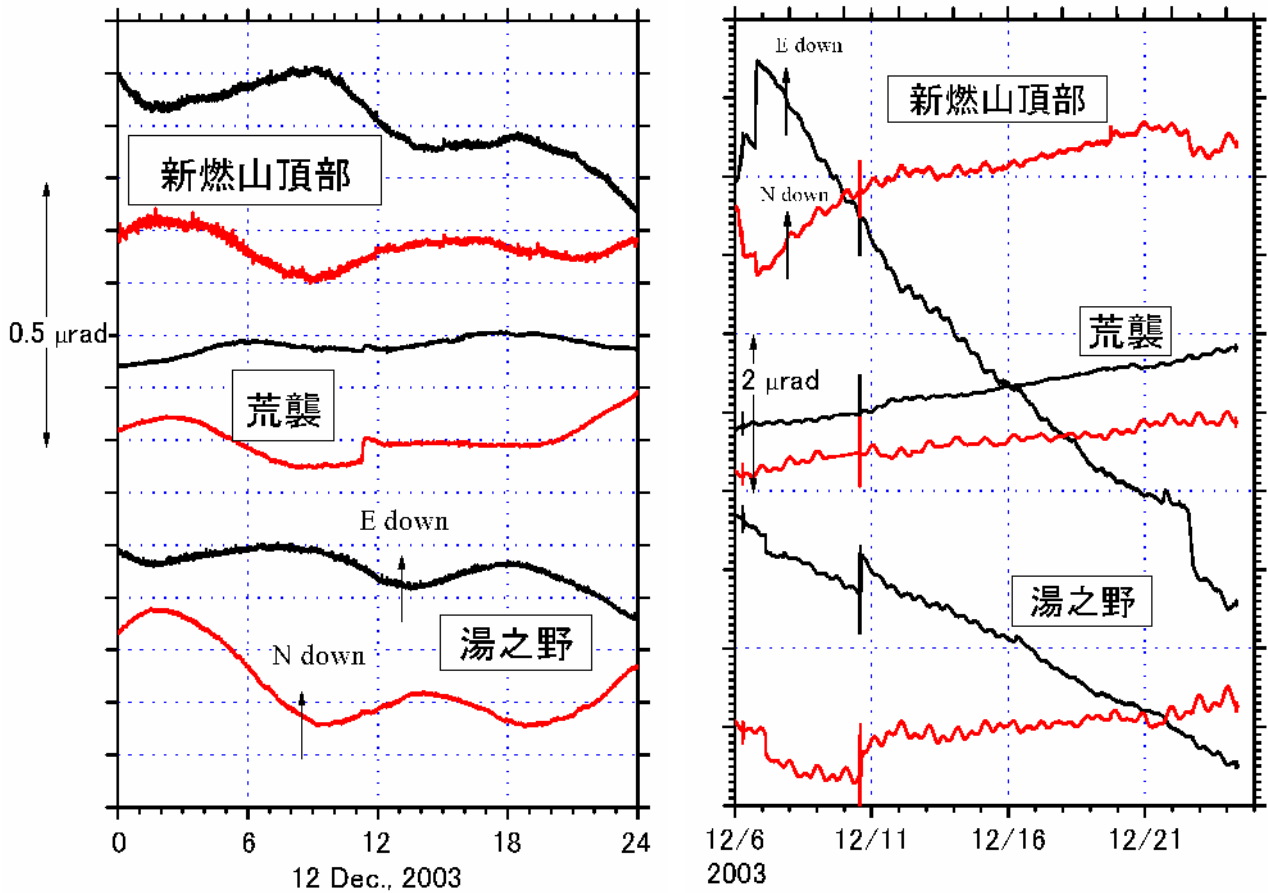


図4 気象研究所の傾斜計記録

左(2003年12月12日0~23時)12日11時15分頃、荒襲で傾斜変動があり、この時に火山性微動が観測されている。

右(2003年12月6日00時~24日09時)12月6日、7日、10日の傾斜変動は遠地震の影響である。また、長周期の変動は地球潮汐によるものである。

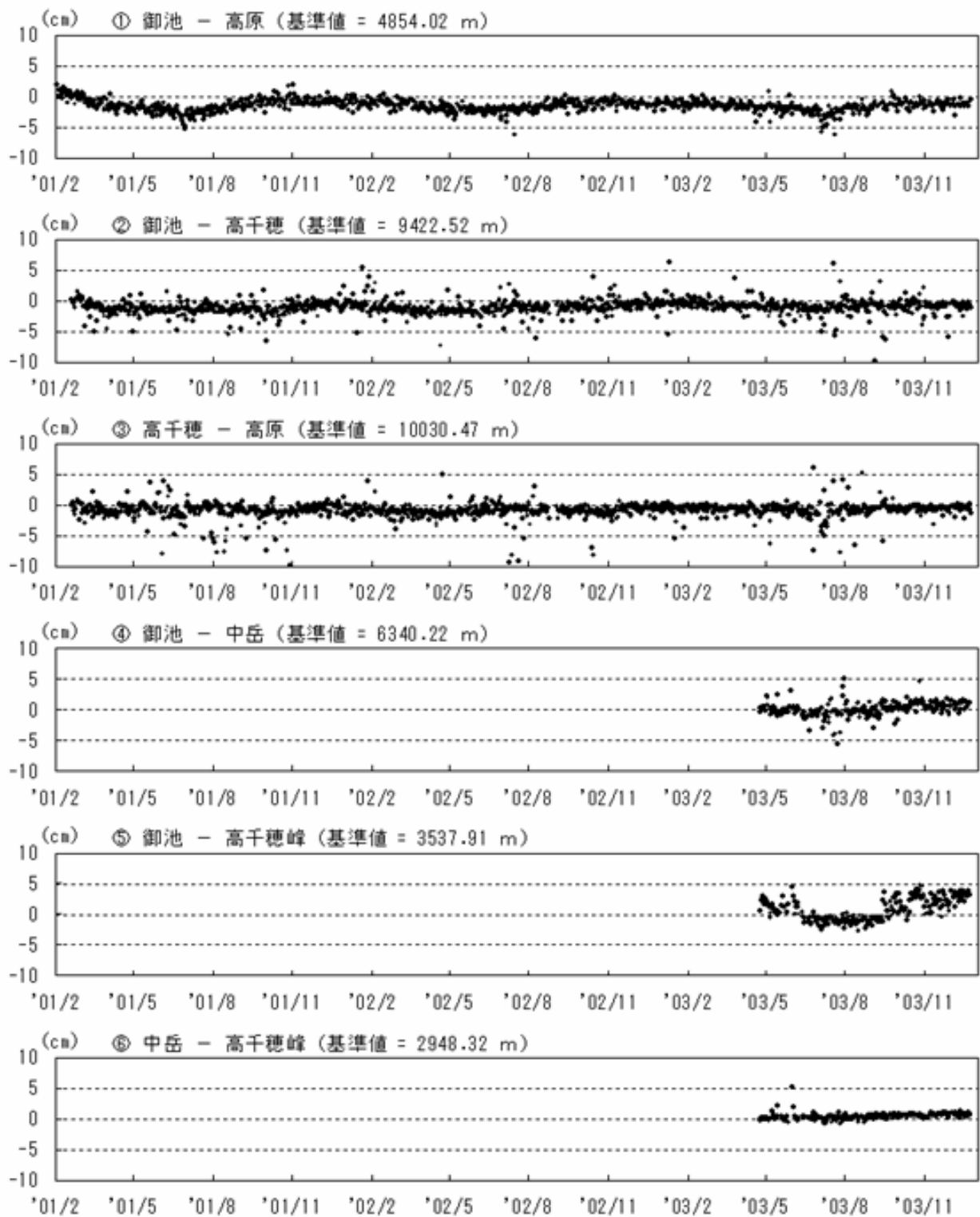


図5 GPSによる基線長変化(2001年2月1日~2003年12月24日)
 火山活動に起因する変化はみられない。
 (注: ~ は12月23日まで)

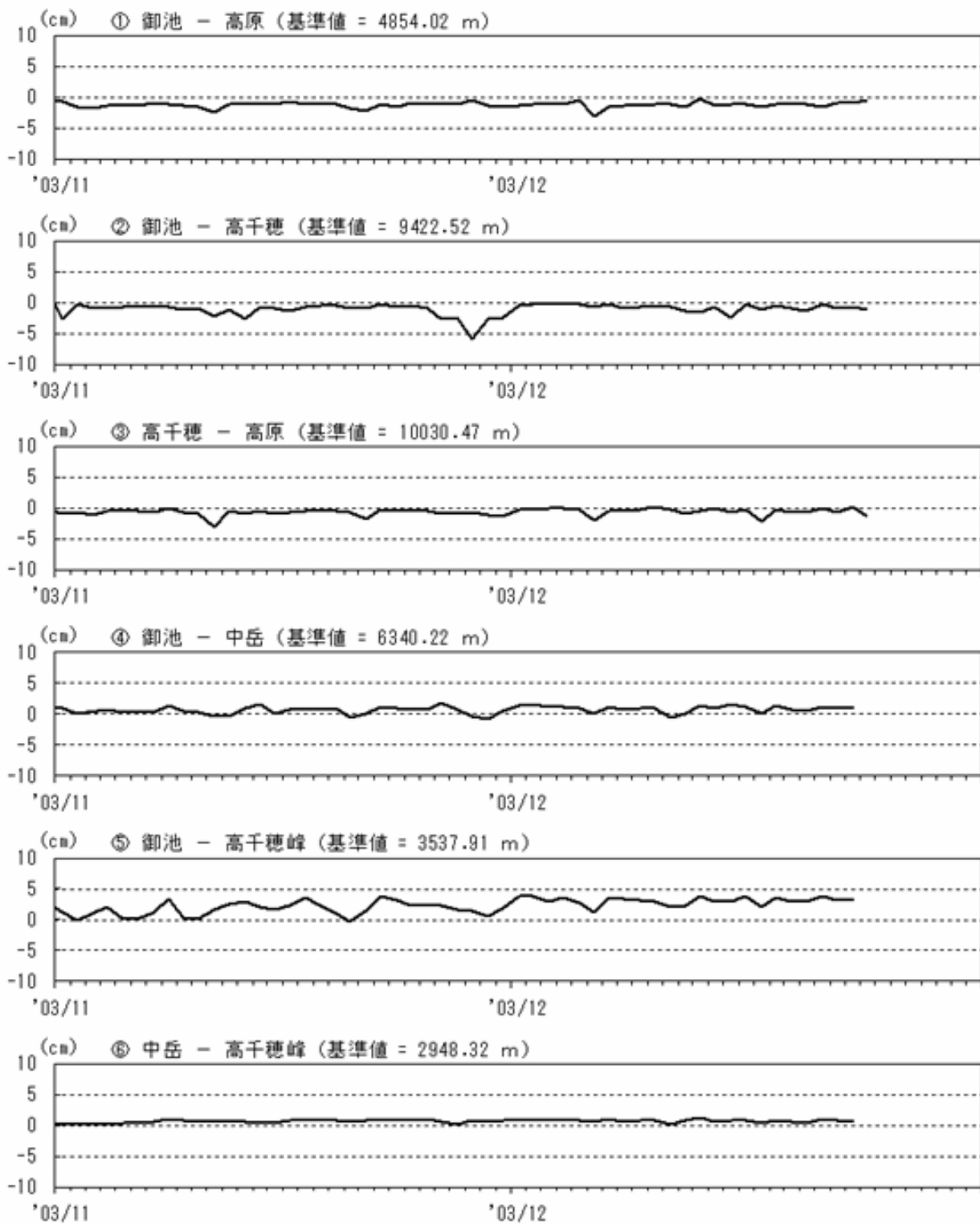


図6 GPSによる基線長変化(2003年11月1日~12月24日)
 火山活動に起因する変化はみられない。
 (注: ~ は12月23日まで)